

真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第21号

平成28年(2016年)
4月1日 発行



「造幣局」桜の通り抜け

最近、社会的弱者の方に対して「役に立たない」など心ない言葉を投げつけたりする場面が増えているように感じます。

それは職場や家庭で健康に動ける人を「役に立つ人」とみなし、そうではない人を「役に立たない人」と、いのちを自分の尺度でばかり、評価するようなあり方です。

いのちとは、はかれないものであるということをお釈迦さまは「無量寿」という言葉でお示しくださいました。いのちは評価するものではない。役に立つ、立たないというような尺度を超えたものです。

「私は無量寿の世界、つまり阿弥陀の世界に出遇った。それははかりあい、比べあうことから解放される世界である。あなたのいのちは、誰とも比べる必要のない大事ないのちである。どうかそれに気づいてほしい」。何事もはかり判断してしまうこの現実世界に生きている私たちにお釈迦さまはこう呼びかけておられるのです。

(佐々木太一)

と う ひ が ん 到 彼 岸



～大阪別院
彼岸会法話より～

かどかわ たかし
浄方寺 門川崇志

「私たちの夢が実現します。特に女性にとつての夢が：」。STAP細胞を世に知らしめた小保方晴子氏の記者会見での一コマです。

STAP細胞が夢の若返りを現実のものにするというのです。以後、世間はこの話題で持ち切りになりました。

いのちと向き合う

釈尊は、全ては無常であり、生老病うまれやうろうびやう

死しこそがいのちのありのままの相すがたであると悟られ、我がいのちと真正面から向き合つて生きていかれたお方です。

一方で多くの人は、いつまでも若々しく、健康で、少しでも長生きしたいという願いを抱いています。だからこそSTAP細胞は、あれほど注目を集めたのでしょうか。

確かに再生医療の研究は、若返りや難病の克服など、私たちの願いに応えてくれるすばらしいものです。

しかしこれらの願いの実現だけを目指して生きていくことは、本当の意味で我がいのちと向き合っていることにはならないのではないのでしょうか。

結局、医療の進歩がいのちの問題を根本的に解決することはないのです。

生老病死の安らぎ

このいのち、一体どこから生まれてきて、どこへ死にゆくのか。考えてみ

れば我がいのちほど不合理なものはないのかも知れません。どれほど科学や医学が進もうとも、どれほど合理的な追究を重ねようとも、人間の知恵によつて、我がいのちの根本問題の答えを導き出すことはできないでしょう。

親鸞聖人は「遠い過去より、いのちに迷い、いのちに苦悩し続けてきたあなただからこそ、必ずお浄土へ往生させるよ」という阿弥陀さまからの喚びかけに出遇われました。阿弥陀さまはお念仏の喚び声となつて、私のいのち全体を大いなる慈悲で包みこみ、苦悩する私に真実の安らぎを届けようとはたらき続けてくださっているのです。

(平成27年9月20日勤修の

大阪別院彼岸会法話より)



如^{によ}是^ぜ我^が聞^{もん}

おおそらごとのかたちなり

大阪別院 輪番 葦名^{あしな} 彰^{あきら}師



平成28年1月17日、佛青懇

和会主催の「聞法の集い」が
大阪別院で開催されました。

この集いは、昨年に続き2回
目の開催で、3名の布教使に
よる布教実演が行われました。

第三席で葦名輪番は、「よし

あしの文字をもしらぬひとは
みな、まことのころなりけ
るを、善悪の字しりがおほ、

おおそらごとのかたちなり」

「是非^{ひつじ}しらず邪正^{じやせい}もわかぬ、こ
のみなり、小慈^{せうじ}小悲^{せうひ}もなけれ

ども、名利^{みょうり}に人師^{にんし}をこのむな
り」というご和讃を讃題にご

法話されました。

有頂天から奈落へ

葦名輪番は、若い頃から聴
聞を重ね、法話も丸暗記する
ほどあこがれていたという恩
師の口調をも真似し「若いの
に上手に話す」と門徒さんか
ら評判を得ていたそうです。

しかし、ある日親戚寺院の
法務員としてお参りに行った
家で、奥の部屋から「今日は
お手伝いの子やから、お茶は
出さんでええで」という声が
聞こえたのをきっかけに、有

頂天になっていた自分の姿を
知らされたといいます。そし
て、心が折れ体調をくずし、
法務もままならない日が続い
たのです。

ご流罪の地にて

葦名輪番は以前聴講した講
演会で「親鸞聖人がご流罪に
遭われ、越後に赴かれたとき、
泥にまみれ命がけで生きてい
る田舎の人々に、物知り顔で
み教えを説こうとする自分自
身の相こそが、おおそらごと
のかたちであったと気づかさ

れたのではないか」と問いか
けられたといいます。

だからこそ、その思いを生
涯忘れてはいけないうの
立場から、晩年にこのご和讃
を詠まれたといただく、た
いへん身にこたえたと葦名輪
番は語られました。

依^よつて樹^たつところ

前述の出来事の後、立ち直
りはしたものの、ご自身の結
婚や本堂の再建といった大き
な節目を迎えては、名利心や
うぬぼれが顔を出し、有頂天
になってしまいう我が身に気づ
かされると話されました。

しかし、話されるそのお顔
から、いつも自分の立ち位置
を示して下さる親鸞聖人のお
言葉に遇えた喜びがひしひし
と伝わる温かいご法話でした。

(長田 謙 記)

大阪探検

エキスポシティ



エキスポシティのメインゲート



ニフレル

「人類の進歩と調和」をテーマに開かれた大阪万国博覧会から45年、装いも新たに2015年11月20日、万博記念公園内に水族館（ニフレル）、大型ショッピングモール（ららぽーと）などがあるエキスポシティが誕生しました。

公園内には太陽の塔や日本庭園、国立民族学博物館など見所もたくさんあります。また大阪・梅田より30分程度で行けるアクセスの良さも魅力です。

ニフレル

海遊館が初プロデュースする、生きものの美しさ、不思議さを直感的に楽しむ今までにない施設です。「いろ」「わざ」「すがた」「ワンダ

ーモーメント」「みずべ」「うごき」「つながり」の7つのゾーンに分かれており、水族館、動物園のジャンルを超えて、生きものにふれることができます。

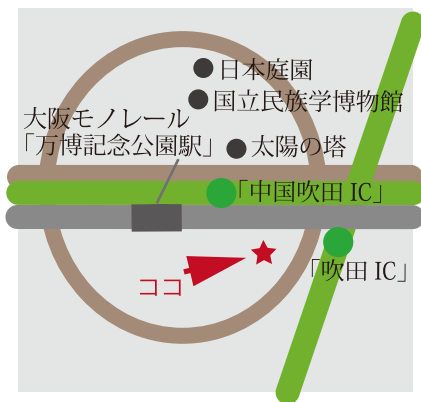
大阪イングリッシュビレッジ

レストラン・銀行・テレビ局など、23種類から体験したい部屋を選び、海外の英語講師とともに、それぞれの場面でよく使用される英単語や英語表現を学び、体験できます。

これら以外にも体感ミュージアム・オービィオオサカや観覧車などがあります。また、アニメキャラクターの施設や子ども向けのアトラクションもあり大人から子どもまで楽しめます。

入場料など詳細は各施設にてご確認ください。

（寿栄松正顕）



吹田市千里万博公園 2-1
tel 06-6170-5590
大阪モノレール
「万博記念公園駅」徒歩約2分
近畿自動車道の吹田ICから
中国自動車道の中国吹田ICから
<http://www.expo-city-mf.com/>

ごえんさんを訪ねて

じょうねんじ

常念寺

(大阪市)

えんじょう しょうじゅん

遠上正順 住職



永禄六（一五六三）年に当地の豪農であった圓浄家の寄進により創建された常念寺は、大相撲の春場所が開催されるエディオンアリーナ大阪（大阪府立体育館）から徒歩5分ほどの賑やかな場所にあります。

大阪大空襲で全焼したお寺を前住職ならびにご家族は戦後たいへんなご苦労の中、再建されました。

僧侶と教員

十五代目住職の正順さんは大学卒業後、大阪の私立高校で英語教員として勤務しつつ、休日には法務に励んでおられます。

「住職だけでなく社会人として働けることは大変ありがたい。そしてそのことがあるからこそ、ご門徒さまや地域との繋がりをより強く持たなければと日々感じる」と語られました。

学校では様々な問題を抱える生徒



常念寺の内陣

に、努力を求めながらも、いざ自分はどうなのかと問うこともあるそうです。その中でどのように生徒と向き合っていくことができるのかと考えておられます。

常念寺では、九代目住職から続く歴史ある「西佛講さいぶつこう」という法座や、先々代住職が開かれた「二日会ふつかえ」の法座を毎月開催されています。どちらも住職が法話をされるそうですが「改

めて親鸞聖人の教え、特に正信偈を通して真宗のお心をご門徒さまと共に確かめていきたい」と熱い決意を聞かせていただきました。

法座後には

平成10年頃から、ご門徒のお声かけがきっかけで、二日会の法座の後、みんなで童謡などを歌うようになったそうです。

また住職もそれがご縁で毎週、東大阪までコーラスの練習に行かれていそうです。いつかは趣味のギターやピアノで歌の伴奏を弾きたいと話してくださいました。

(玉出宗順)

■常念寺(じょうねんじ)

〒556-0016

大阪市浪速区元町2丁目6番10号

電話 06-6631-9086

Fax 06-6631-9086

大悲トピックス

■『大悲』誌、定期購読ならびに広告のお願い

大阪教区・別院日より『大悲』は、皆様からのご協賛（「定期購読」と「広告」）によって発行させていただいています。

『大悲』を「定期購読」していただき、ご門徒の皆様方にもお渡しいただけませんか。『大

悲』の定期購読は、1部につき30円です（送料込）。10部単位でお願いいたします。

また、企業・団体の「広告」も募集いたします（広告例は下記参照）。1区画（55mm×40mm）、掲載1回につき5千円です。何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

■懇志御礼

滋賀県長浜市 光円寺様



①



②



③



④

御本山 近 用達

株式会社 川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055
(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入
電話 (075)371-0367(代)
FAX (075)371-5088

御本山佛光寺御用達

井筒法衣店

〒600-8503
京都市下京区堀川通新花屋町角（西本願寺前）
フリーダイヤルTEL 0120-075-720 番
フリーダイヤルFAX 0120-075-490 番

- 大正三年創業の信頼と実績 -

石留石材株式会社

各種石塔・石仏・記念碑
寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯PHS OK

0120-53-5578

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂2丁目9番29号

(株) 小林造園

代表取締役：小林正典

〒603-8442

京都市北区西野山東町 36-1

tel 075-491-4256

fax 075-491-9432

燦ホールディングス グループ

まごころ葬儀を創造する。

公益社

公益社 ご葬儀相談センター (24時間・365日受付・通話料無料・携帯電話OK)

0120-567-701

※2012年5月現在 [2-0131]

燦ホールディングス グループ

なごみ庵

きたはま
KITAHAMA

法要料理
希望の場所までお届けします。

■四條畷店
■瓜破店
■伊丹店

☎0743-78-7521
☎06-6769-0140
☎072-773-7531

※2012年5月現在 [2-0132]

株式会社 モントラベル

〒550-0013

大阪市西区新町1-8-1 行成ビル

TEL. 06-6531-1344

FAX. 06-6531-1346

http://www.monto.co.jp

仏跡参拝ならお任せください!

浜屋は関西最大級の
お仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の
専門店です。

やすらぎの
世界を創る



浜屋

お問い合わせ
お申し込みは

0120-1616-94

●受付時間/午前10時～午後6時30分

ご寺院、お役に立てる商品が、
きっと見つかる情報誌!

寺がある、法が活きる、寺の友社。



株式会社 寺の友社

〒611-0002 京都府宇治市木幡平尾54番地の2
TEL 0120-7676-39 FAX 0120-7676-29
http://www.teratomo.jp

ご希望の、ご寺院には、無料カタログをお送りします。

だいひ 絵日記

- 1月 2日(土) 大阪別院修正会
 1月 8日(金) 大阪教区新年互礼会
 1月17日(日) 佛青懇和会研修会(聞法の集い)①
 1月20日(水) 大悲の会編集会議(総会・第21号読み合わせ)
 1月25日(月) さつき会研修会(歌舞伎鑑賞)
 2月15日(月) さつき会研修会(フラワーアレンジメント)
 2月17日(水) 大悲の会編集会議(第21号読み合わせ)②
 2月23日(火) 法友会研修会(DVD『了源上人物語』鑑賞・講師:吉田 譲 師)③
 3月11日(金) さつき会研修会(親鸞聖人のお手紙に聞く・講師:日下貴行 師)④
 3月17日(木) 大阪別院彼岸会(布教:長田 譲 師)
 3月20日(日) 大阪別院彼岸会(布教:道野真弘 師)
 3月23日(水) 大阪別院彼岸会(布教:寿栄松正顕 師)
 3月25日(金) 大悲の会編集会議(第21号発送作業・第22号内容検討)
- (法友会=住職会、さつき会=坊守会、佛青懇和会=青年会)



創業安政3年
 京 佛 具 調 進
 森田屋
福野御佛具處
 〒601-8424
 京都市南区西九条猪熊通九条上る
 tel. fax 075-691-8423

「大悲の会」御用達

鮎 さぐち
 旬魚菜
 地下鉄御堂筋線あびこ駅前
 tel. 06-6696-6880
 〒558-0011 大阪市住吉区荻田 7-5-20
 さつきマンション 1F

慶事、仏事、各種会合等の際は、
 和光菴の仕出し料理を御利用下さい。

京懐石
和光菴

株式会社 和光菴
 〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町3-32
 TEL06-6774-8090 www.wakouan.co.jp
 西天満店 結心(ゆいごころ)
 〒530-0047 大阪市北区西天満4-10-5 1階
 TEL06-6809-6311 www.yuigokoro.com

協 賛
法 友 会
さ つ き 会
佛 青 懇 和 会

高 龍 本 法 衣 店
 〒600-8150
 京都市下京区東洞院通
 上珠数屋町下ル
 TEL. 075-371-2852
 FAX. 075-371-2857

■広告募集(『大悲』発行は広告によって支えられています)
 企業・団体・寺院の広告を誌面に掲載させていただきます。
 1区画(55mm×40mm)、掲載1回につき5,000円です。

■定期購読(ご門徒の皆様方にもお渡しください)
 『大悲』の定期購読は、1部につき30円です(送料込)。10部
 単位でお願いいたします。





どなた様でもお参りいただけます

法要・法話会のご案内



本山佛光寺茶所布教

毎日午前 7 時半

※大阪教区布教使の担当は下記の通りです

4 月中旬 玉出宗順 師（光福寺）

6 月中旬 葦名 彰 師（妙圓寺）

大阪教区寺院で開催される法話会

◎妙圓寺（高槻市・072-685-1554）

4 月 7 日（木）午前 11 時

「花まつり聞法会」法話：門川崇志 師

◎浄方寺（大阪市北区・06-6371-9040）

4 月 16 日（土）午後 2 時

「聞法会」法話：日野智深 師

◎仏願寺（大阪市東住吉区・06-6702-0994）

5 月 14 日（土）午後 2 時

「定例法話会」法話：新田修巳 師

6 月 14 日（火）午後 2 時

「定例法話会」法話：若林真人 師

◎正念寺（大阪市東住吉区・06-6714-3109）

6 月 21 日（火）午後 3 時

「聞法会」法話：木村俊尚 師

◎高照寺（堺市北区・072-252-2122）

5 月 15 日（日）午後 3 時

「聞法の集い」法話：永尾一道 師

※詳細は各寺院にお問い合わせください



編集秘話

推敲に推敲を重ね、かなり時間をかけて練って書いた文章をばっさり切りすてさらっと書けた数行の文章に変えてしまうことが、しばしばです。この切りすてた文章をしっかりと書ききったからこそ、次のさらさらが出てくるように思えます。無駄なことは何ひとつないということでしょうか。（佐々木）

編集後記

『大悲』を 1 号発行するにあたり、2 回の編集会議を開催しています。また、それぞれの会議のあとには何度もメールでやりとりをし、意見を出し合って「推敲」と「校正」を積み重ねています。『大悲』ではそれぞれの原稿のあとに担当者名を記載していますが、担当者個人を超えた「大悲の会」一同の「作品」なのです。（隅谷）

大阪教区・別院だより『大悲』 第 21 号（春号）
平成 28 年（2016 年）4 月 1 日発行（発行部数 2100 部）
発行：大悲の会
事務所：佛光寺大阪別院内
〒558-0011 大阪市住吉区苅田 6-11-24 電話 06-6691-1362
郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」
大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会
長田 譲（会長） 佐々木太一
隅谷俊紀（副会長） 葦名 彰
寿栄松正顕（会計）
玉出宗順（会計）
門川崇志（監事）